

SlackBot プログラム作成の報告書

2020/5/27

中川 雄介

1 概要

本資料は 2020 年度 B4 新人研修課題の 1 つである SlackBot プログラム作成の報告書である。Slack とは、Web 上で利用できるビジネス向けのチャットツールである。SlackBot とは、Slack 上でのユーザの特定の発言を契機に Slack に発言するプログラムである。本資料では、課題内容、理解できなかった部分、自主的に作成した機能、および作成できなかった機能について述べる。なお、本資料における発言とは Slack の特定のチャンネルに文字列を投稿することを指す。また、本資料においての発言内容は “ ” で囲って表す。

2 課題内容

課題として、SlackBot プログラムを Ruby で作成する。具体的には以下の 2 つを行う。

(1) 任意の文字列を発言するプログラムの作成

Slack でユーザが “ 「 」と言って ” の文字列を含む発言した場合に、SlackBot が “ ” と発言するプログラムを作成する。

(2) SlackBot プログラムへの機能追加

Slack 以外の Web サービスの API や Webhook を利用した機能を追加する。

本課題で使用する Ruby のバージョンは 2.6.6 である。また、作成した SlackBot プログラムのコード量は 83 行になった。

3 理解できなかった部分

理解できなかった部分を以下に示す。

(1) password メソッドに記述されている以下のコード

```
url = URI.parse("https://randomuser.me/api/")
https = Net::HTTP.new(url.host, url.port)
https.use_ssl = true
req = Net::HTTP::Get.new(url.path)
res = https.request(req)
hash = JSON.parse(res.body)
```

1

このコードは、指定の URL に対してリクエストを送信して、その返信を受け取り、受け取ったデータを変換しているのだが、具体的に各関数でどのような処理が行われているかを完全には理